# 配管用ガスケットの基準

(2023年7月13日追補)

$\subseteq \sigma$	)追補は、2015年12月2	4日に制定された"配管用ガスケッ	トの基準"の追補である。	したがって、
今後、	JPI-7S-81-2015 とは、	この追補も含むものとする。		

なお、この追補は、石油学会ホームページ上で、該当箇所のみを示す。 2023 年 7 月 13 日の追補は次の 2 箇所通りである。

<u>JPI-7S-81-2015 の該当頁:</u>	2頁	(管理番号:	: 7S-81-2023	追補 01)	 2
JPI-7S-81-2015 の該当頁:	4 頁	(管理番号:	: 7S-81-2023	追補 02)	 3

<u>JPI-7S-81-2015 の該当頁: 2 頁(管理番号:7S-81-2023 追補 01)</u>

## 表 1 ガスケットの名称、種類の記号、断面形状、構造、材料、該当製品規格及び厚さ

名称	名称		断面形状	構造、材料 (³) 及び該当製品規格	
PTFE <b>(²)</b> ソリッドガスケット	PS	С	8888888	シリカ入り P T F E シートを所定の形状寸法に加 工したガスケット。 JPI-7S-75	1.5 3.0



追記 PTFE ( <sup>2</sup> ) ソリッドガスケット	PS	С	200000	シリカ入りPTFEシートを所定の形状寸法に加工したガスケット。 JPI-75-75 アルミナ入りPTFEシートを所定の形状寸法に加工したガスケット。 ( <sup>6</sup> )	1.5
--	----	---	--------	---	-----

(6) アルミナ入りPTFEシートについてはシリカ入りPTFEシートと同様の取り扱いをし、そのガスケット特性はJPI-75-75 表3のPS-Cの項を目安とする。

## 備考)

アルミナ充填 PTFE への対応を追加

## JPI-7S-81-2015 の該当頁: 4頁(管理番号: 7S-81-2023 追補 02)

#### 表 2 ガスケットのガスケット係数、最小設計締付圧力及び最大締付面圧

-			H	厚	3	ガスケット	最小設計締付圧力	最大締付面圧
名称		種類の記号		断面形状 材 質		係数 m	${ m N/mm}^{2}$	N/mm <sup>2</sup>
PTFE		РJ	В	2.8	S、M 形	3.5	14.7	49.0 ( <sup>7</sup> )
被覆ガス	ケット	19	D	mm	F形	4.0	19.6	49.0 ( )

7		Ļ
	V	

油記

PTFE	РJ	B	2.8	S、M形	3.5	14.7	(49.0:参考値)
被覆ガスケット	10	Б	mm	F形	4.0	19.6	(7)

### 注 (<sup>7</sup>)

PTFE 被覆ガスケットの最大締付面圧は、平面座に用いた場合の締付初期の最大締付面圧である。



### 追記

PTFE 被覆ガスケットの最大締付面圧は、平面座に用いた場合の締付初期の最大締付面圧である。本表記載の数値は参考値であり、実際の使用においてはメーカーに確認すること。

#### 備考)

強度計算の際、ガスケット寸法は被覆材を含む寸法で計算される場合があり、その場合、中芯材はそれより小さいため、中芯に作用する実質面圧は計算より大きくなる。小口径の場合はその影響が顕著であり、破損につながる場合があることを考慮した。